



町長日誌 No.43

町長日誌の第43号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月15日(木) AM5:30 雪の降り方が激しくなってきました。これから明日にかけ70cmぐらいの雪が降ると气象台では発表していますが、当初心配された猛吹雪にはならないようです。さて、節分の豆まきや恵方巻き食べられましたでしょうか？そして14日はバレンタインと日本と言う国は古くから伝わる文化と外国から入ってきた文化を上手に取り入れ独自の文化として楽しんでいます。元旦から大晦日まで毎月のようにお餅やチョコレートそしてケーキ・そばなど、本当にバラエティーに富んだ食生活ができ、これを『歳時』と呼びます。そしてこのことが様々な商売につながり沢山の職人を生み出し、多くの人々の生活も支えています。この事は一つの神様しか信仰しない一神教の国ではありえないことで、八百万の神々つまりは自然崇拜をよりどころとした先祖に感謝をしなければいけないかもしれません。昔、バラクーダと言う二人組みが『日本全国酒飲み音頭』と言う曲を歌っていましたが、正に一年中酒が飲める行事(歳時)のある日本は素晴らしい国だと子や孫に教えたいものです。

1月25日(木)

午後3時から3役会議（町長・助役・教育長＋総務課長・企画財政課長で構成）が行われ企画財政課長から19年度の予算案が報告されました。今年度予算案は一般会計で「37億9500万円」です。町の予算を作る行程は、昨年秋より各課ごとに必要な金額を積み上げ、その後、企画財政課との協議を繰り返し、12月に入ると助役と各課長の協議（助役査定といいます）を経て、最後に町長に説明をして「OK」となれば予算案として3月の第1回定例議会に提案して「審議」され、議員さんが「よし！」となれば3月中旬には決定となります。このような流れで町の予算は決まります。勿論、日頃町民の皆さんからの要望などは、あらかじめ各課で把握していますし、私と助役でも何を優先して予算化するかをあらかじめ相談して助役査定となります。そしてここで大事なことは、予算の決定権は議会にあるということです。これは、町長も議員も町民が直接選挙で選ぶのですが、町長は一人ですから、もしかしたら町民の意向を無視して好き勝手に予算を決めるかもしれません。それをさせないために皆さんは多数の議員を選び町長が独裁しないようにしている。これが「議会制民主主義」なのです。だから夕張市の場合は、その市長や議員を選び続けた市民に最大の責任があると前にも申し上げた訳です。今年は改選期と言うことで「骨格予算」として新規の事業などは6月議会に提案となりますが、昨年並みの予算をお蔭様で組むことが出来、少し「ホッと」しています。

2月2日(金)

1月の後半に沙留小学校の子供たちから私に手紙が届きました。『町長さん何故、沙留に病院が無いのですか？建てられないのですか？』と言うものです。実は総合学習と言う時間に自分たちが住んでいる町を見つめ直して不便がないかなど、考えてみようと言う授業の中で、町長に聞いてみようとなったのです。本当は文章で回答してくださいと言うことでしたが、難しい問題なので、先生にお願いをして教室にお邪魔をして30分ぐらいだったのでしょうか、直接お話をし質問にもお答えをしました。「沙留に病院をと言うことは難しい」ことを易しく説明したつもりですが、みんな分かったでしょうか？でも子供たちがこんなに真剣に町のことを考えてくれたのがとても嬉しく、いい時間を過ごせました。子供たちそして先生方、どうもありがとうございました。

2月は逃げるといいますが、本当に早い気がします。3月は子供たちにとって卒業・試験などの月です。将来に向かってがんばれ！！では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.hokkaido.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。